

高森町みんなで作るあったかもりプロジェクト(自治基本条例策定チーム)

第 1 回会議 議事録

平成 25 (2013) 年 9 月 6 日 (金) 19:30~ @役場 3 階 会議室 文責: 清水 (経営企画室)

1.開会

2.本日の会議の目的

**「自治基本条例チームのメンバーが、
これからの会議の進め方、まちパワ報告書の内容及び課題などを共有する」**

3.会議進行について

■メンバーの移動について

当初名簿に名前のある I さん→ご本人の希望と所属に食い違いがあったため、正規手続きを経て「まちづくりプラン」チームへ移動→**メンバー了承**
(自己紹介の中で)

各種会議を通じて、上手くいかないという相談をしばしば受ける。それは、出された意見を評価しうる基準や能力もないまま、いろいろやろうとしているから。そういった意味で、今回ファシリテーター研修を通じて、はじめに能力アップを図った点は非常に評価できる。

■週番制の提案 (次回よりクジ引き) →**メンバー了承**

■ファシリテーション研修の内容 (資料あり)

- ・ルールを確認→会議の際は毎回掲示する→**メンバー了承**
- ・欠席者へは、会議後に研修資料を配布しフォロー

■今後スケジュールの修正

K 委員) 収穫祭での発表、展示のイメージは?

清水) 単に掲示だけに留まらず、あったかもり (景観) の時のようなアンケートや投票も予定している。

K 委員) 自治の憲法 (最高規範) だからこそ、できるだけ多くの町民に知ってもらうことが必要。区会等へこちらから説明に出向いていくことも必要。

M 委員) (上記に付随して) ただ伝えるだけでなく、「どんなことを伝えたいか」意識して伝えることが重要

Y 委員) 町パワ委員会でやってきたことが、町民にしっかりと伝わっていないと感じる。

また、条例化については、町民の「本当につくってほしい」というニーズを掘り起こしたうえで目指してきたものなのか?

O 委員) 日頃、公民館長が話されている課題とよく似ている。公民館学習と連携すれば、まだまだやれることは多いと感じる。

K 委員) 「一部の人達だけで作ってしまった」というイメージが一番よくない。各地区少なくとも 1 回は必ず出向いていくことが必要。

K 委員) 町民の意見がどう反映されたのかをしっかりと見えるようにすることが大切。
清水) 会議はオープンにして行う。また、会議結果は全ての媒体を通じて発信する
(まちパワ委員会と同じように)

K 委員) それだけでは弱い。いかにこちらから乗り込んでいくかが重要。ゲリラ戦術で。数は少なくてもより濃く！

M 委員) 10人で決めたなら、その10人がどんなメンバーであったか、また今はどんなことを話し合っているのか、オープンにする。

ゲリラ戦で地区へ出向いていけば、「あの人たちが決めているんだ」ということが視覚的にも見えるようになり、そういった意味でも有効。

A 委員) 町民の皆さんに広める、また意見をもらう手段として、まずはその日の会議結果を家族に伝える。チームの追加ルールにしてほしい。

Y 委員) 区会で伝えられるよう、もっと簡潔な資料を欲しい。冊子ほどもいらない。
A4紙1枚以内でポイントだけ掴んで。

清水) 既に示されている日程から見ても、今年度のまち懇で仕掛けていくのは難しい。

「町民の方々に知ってもらう、理解を深めてもらう手段」について、次回までの事務局及び皆様への宿題とさせていただきます。

4. ディスカッション

・今までの振り返りの確認。時間の都合で、今回は事務局からの説明のみ。シートを用いた課題の抽出(発散)は次回会議で。

5. 次回会議の日程確認

・第2回チーム会議：まち懇日程も踏まえ **9/19(木)19:30~@場所は追って通知**

※まちプラ、土地利用チームの第2回会議は、9/27 19:30~ @福祉センター大ホール 見学は自由

(その他)

・メンバーのメーリングリストを開設。出欠席の確認などに利用する。

何も会議の場だけで議論するのではなく、メールも利用し意見交換することで、会議の場がより有効なものとなる。

・次回会議のワークシートを、事前にメール配信してほしい。小さい字は見にくかったりもするので。

(配布資料)

①次第、②新スケジュール(次第裏面)、③会議のルール、④ファシリテーション研修資料(2種類『創造的な…』、『1.会議における…(A4-1枚)』)⑤まちパワ委員会の様子、⑥まちパワ委員レポート(抜粋)、⑦まちパワ委員会ワークシート(抜粋)、⑧大杉覚教授講演会・座談会メモ